

現場： 北関東道の走行状況（2011.3.24 朝）@ 群馬県東部～茨城県にかけての被害分布

概要： 全通したばかりの北関東自動車道を群馬県内の太田桐生 IC から茨城方面（友部 JCT 経由して常磐道水戸 IC）へ走行して路面の通行状況を確認した。群馬県から栃木県中部（宇都宮付近）までの変状はほとんどない。鬼怒川にかかる橋梁を越えた付近 124k あたりから段差が漸続的に見られ（カルバートや橋台部の数十か所）、片側（左側）規制がされていた。特に、小貝川・太政山トンネル付近 135k まで（真岡市の南部）が変状多い。そこから先、友部 IC あたりまではそれ以西の区間より変状箇所はやや少ない。友部 IC を過ぎて 162k 付近から再びだいが多くなる。友部 JCT 付近から水戸までは緊急工事が随所に見られた。※いずれ NEXCO さんに Report を公表していただけることを期待。

栃木県中部を調査した時、屋根瓦被害、各種の土砂災害は鬼怒川以東（真岡、益子、烏山など）で特に多い印象を持っていたが、それと符合する状況であった。



©2011 Yahoo Japan, ZENRIN



現場： 市街地の液状化（JR 水戸駅周辺） @ 茨城県水戸市

概要： 市街地内の噴砂等はすでに片づけられた印象。沈下・段差等から随所に液状化の痕跡を想像させる。範囲を詳細把握していない。不動点が判らないので絶対量は判らないが、建築物等との段差は駅周辺で20cm程度か。



現場： 橋台の移動・段差（JR 跨線橋：梅戸橋） @ 茨城県水戸市

概要： 橋台が沈下・移動して、大きな段差が発生していた。明確な液状化痕は認められず。市街地周辺を走る道路の橋台部等の段差は水戸市周辺で無数にみられたが、大半は軽微であり応急復旧済み（走行には要注意）。



現場： 橋台の移動・段差（那珂川左岸・勝田橋） @ 茨城県ひたちなか市勝倉

概要： 橋台が沈下・移動して、大きな段差が発生していた。明確な液状化痕は認められず。ただし、すぐ脇の河川敷で大きな亀裂と噴砂の痕跡が認められた。



現場： 河川堤防の亀裂・沈下（那珂川左岸） @ 茨城県ひたちなか市三反田

概要： 堤防の天端に亀裂と沈下。のり面（川表・川裏側ともに）に連続的な亀裂あり。のり尻付近に噴砂。



現場： 河川堤防の亀裂・沈下と橋台の段差（久慈川左岸 栄橋下流） @ 茨城県常陸太田市

概要： 堤防の天端に亀裂と沈下。噴砂の痕跡あり。栄橋の橋台の沈下による大きな段差が発生。



現場： 橋台の亀裂・段差（那珂川左岸・湊大橋） @ 茨城県ひたちなか市

概要： 橋台が沈下・移動して、段差が発生していた。明確な液状化痕は認められず。



現場： 落橋（中央部），橋台の移動・段差（北浦） @ 茨城県鉾田市～行方市

概要： 両岸の橋台が沈下・移動して，段差が発生していた。液状化の痕跡あり。隣接する（建設中の）新橋の橋台基部も移動が認められた。



現場： 宅地ブロック積み擁壁の亀裂（国道 354 号） @ 茨城県行方市小貫

概要： 7～8m 程度のブロック積み宅地擁壁の縦横に亀裂。大型土嚢で保護。



現場： 石積み擁壁の倒壊（東照宮南側） @ 茨城県水戸市

概要： 東照宮の敷地南側から西側にかけての崖の石積み擁壁が倒壊して駐車場の車を埋めた。敷地周辺の崖面が連続して100m程度崩壊している。崩壊部分からの湧水や噴砂は認められず。



現場： 盛土の滑り出し・亀裂（水戸協同病院の敷地南～東側） @ 茨城県水戸市

概要： 病院の敷地の南から東にかけての盛土の広範囲で亀裂が発生。地すべり様の運動を監視するために既に数か所に伸縮計が設置されていた。3月14日までに、水戸市は斜面下の約30世帯に避難指示。



現場： 宅地ブロック積み擁壁の倒壊（国道 118 号近くの住宅地） @ 茨城県常陸大宮市

概要： 高さ 2m 程度のブロック積み擁壁（平積み）が倒壊した。擁壁下の道路を直交する方向に、道路下には樋管が通過していたが、この倒壊との関連は不明。



現場： 地すべり（浅川右岸の住宅地裏山） @ 茨城県常陸太田市 松栄町

概要： 住宅地の裏山の斜面（約15m高さ）が滑落して土砂が住宅に衝突。滑動した土塊は破碎された岩の集合体。未崩壊部には砂岩・泥岩互層とそれらの境界部の層理、節理が認められ、いずれかの不連続面が地震時に破壊したことが斜面不安定化の直接的な原因と推定される。上部に2mほどの滑落崖が形成。



現場： 表層崩壊（国道 293 号） @ 茨城県常陸太田市 花房町

概要： 道路上の堆積土砂はすでに片づけられていた様子。擁壁上部の斜面の表層が崩壊したらしい。



現場： 表層崩壊（県道 18 号線脇の自然斜面） @ 茨城県鉾田市上幡木

概要： 2箇所で表層崩壊（高さ 10m 程度の急斜面）が発生。県道からだいぶ離れているので交通には支障なし。



現場： 地すべり（国道 354 号近くの宅地裏山の自然斜面） @ 茨城県行方市小舟津

概要： 数箇所で見層を中心に滑落。斜面高さは 20～30m 程度。



現場： 山腹の表層崩壊および道路脇の石積み擁壁の倒壊 @ 茨城県常陸大宮市 盛金

概要： 山腹の崩壊箇所へは通じる道路を発見できずに遠視のみ。



現場： 表層崩壊（那珂川左岸） @ 栃木県那珂川町

概要： 河岸段丘の急傾斜面が表層崩壊。数 km にわたって複数箇所が同様の崩壊を発生。



現場： 岩盤崩壊（国道 461 号） @ 茨城県大子町 下金沢

概要： 高さ 30m 程度の岩盤斜面の中部以下が剥離・崩落し、巨岩の一部が道路に到達した。50m 手前にも転石あり。別の斜面からの落下物？



現場： 岩盤崩壊（国道 294 号近く：館山城址展望台付近） @ 栃木県那須町 芦野

概要： 高さ 30m 程度の急崖の一部が剥離・崩落し、巨岩の一部が下部河川に到達した。同様の崩壊が周囲に点在している。



現場： 岩盤崩壊（国道4号近く；箒川右岸） @ 栃木県矢板市

概要： 高さ20m程度の急崖の一部が剥離・崩落した。



以上